

海外インフラ展開支援事業基金 案件具体化事業について

2025年12月

海外ビジネスサポートセンター サステナブルビジネス課

- ◆ FS調査や現地の技術実証を終え、インフラプロジェクトの獲得に向けた交渉段階にある個別案件に対し、海外渡航や現地関係者の招へい、深掘り調査などを委託費の範囲でパッケージ支援するもの。
- ◆ 2021年度以降、3年ぶりに公募。（24年度公募、25年度公募なし）
一件当たりの委託金額は上限1,200万円（税込み）。
- ◆ 事業実施期間は締結後より8か月。
- ◆ 採択のプロセス
 - 第一回公募：2024年7月19日～9月13日（※8月1日説明会）
 - 審査：ジェトロ内部2名および外部有識者4名による採択委員会を10月3日に開催（提案企業によるプレゼン形式）。
- ◆ 採択結果：株式会社栄組の「コンクリート構造物の長寿命化技術の普及と国土強靱化のための予防保全の推進支援」メキシコ合衆国）を採択。

<2024年度採択（25年度継続）>

No.	企業名	所在地	契約期間	対象国	分野	事業内容	状況
1.	株式会社 栄組	岩手県	2025年2月1日～ 2025年12月31日	メキシコ	防災・災 害対策	コンクリート構造物の長寿命化技 術の普及と国土強靱化のための 予防保全	終了

<スケジュール>

- （１）事業実施期間：契約締結日～2025年9月30日
- （２）最終報告書準備期間～提出期限：2025年10月31日15:00
- （３）精算手続き：2025年11月1日～12月末

【事業概要】

- 建造物の経年劣化が課題となっているメキシコ市において、栄組が有する圧力調整注入工法（SAPIS）とインフラ長寿命化施工マネジメント（SIMMS）を用いて、コンクリート構造物の長寿命化に貢献する事業
- 現地法人設立、補修剤メーカーとのパートナー契約を通じ事業開始3年目での営業利益黒字化を目指す

【本事業の目的】

- ① メキシコシティにおける橋梁崩落事故現場を視察し、補強工事を経て再び供用しているコンクリート構造物及び主要なコンクリート構造物の外観調査を行い、対策の適否、劣化状況を調査する。
- ② 課題解決に向けた圧力調整注入工法及びインフラ長寿命化施工マネジメントシステムの有効性及び現地適合性を確認するとともに、工法導入に向けた課題・条件等を協議する。
- ③ パートナー企業を絞り込み、日本に招聘した際に現地における事業活動を可能にする知財使用許諾契約を締結し、パートナー企業とメキシコでの技術普及活動を開始する。

環境社会配慮について

<事業の実施に伴う環境社会面への影響>

当該企業の技術は、構造物の予防保全・長期寿命化につながることから環境負荷低減に貢献するものである。

本事業において、ネットワーク形成・個別面談・施工デモンストレーションなどの活動を通じて情報収集を行ったところ、**現時点では環境社会影響に望ましくない影響を及ぼすことは想定されていない。**

また、第2回現地調査時の施工デモンストレーションは、メキシコ政府機関、ビジネスパートナーから提供されたコンクリート構造物を対象に行い、**環境社会影響を与えることがないことを確認済み。**今後環境社会配慮に関する調査実施の場合は、**ジェットロ環境社会配慮ガイドラインを遵守する。**また、パイロット施工を行う構造物を選定し事業を進める場合にもジェットロの同ガイドラインに示される内容を遵守すると共に、**2024年11月12日付のジェットロ環境社会配慮諮問委員会分科会の助言にも留意する。**

<相手国の環境社会配慮関連法規の概要及びそのクリアに必要な措置>

CENAPRED / Centro Nacional de Precesión de Desastres（メキシコ国立防災センター）、Secretaría de Gestión Integral del Agua（メキシコ市役所総合水管理局）、パートナー企業から、**事業の実施の際に関係する環境社会配慮関連法規およびそれをクリアするために必要な措置は現時点では想定されないことを確認済み。**

<環境社会改善効果>

環境社会改善効果が期待されることは、現地法人の設立後、事業展開を行う際に現地人材を雇用することによって生じる、労働条件、労使関係、職場のダイバーシティ&インクルージョン、労働者の技能構築等に関する事項と想定。

これに関してはメキシコ日本商工会議所の資料を入手し、内容を精査。また、業務提携した現地企業との間で行う予定となっているひび割れ注入作業に従事する技能者に対する技能指導等については、今後継続して協議する。